

成果指標一覧

こちらの内容は資料編として
掲載する予定です。

基本目標 1. エネルギーを賢く利用し、気候変動の影響にも対応するまち

施策	成果指標	基準値	目標値
[1]	市内のエネルギー消費量 【算出方法】 市内の産業部門（製造業、建設業等）、業務部門（事業所等）、家庭部門、運輸部門（自動車、鉄道）におけるエネルギー消費量の合計 【出典】 オール東京62提供資料	13,953TJ (2013年度)	8,429TJ (2030年度) ※約40%削減
	【指標の狙い】 市内の温室効果ガス削減目標（施策[3]参照）を達成するためのエネルギー消費量を推計し、目標値を設定しました。		
[1]	家庭のエネルギー消費量（世帯数当たり） 【算出方法】 市内の全家庭で消費されるエネルギー量の合計÷市内の世帯数 【出典】 オール東京62提供資料	32.8GJ/世帯 (2013年度)	20.7GJ/世帯 (2030年度) ※約37%削減
	【指標の狙い】 市内の温室効果ガス削減目標（施策[3]参照）を達成するための家庭部門エネルギー消費量を推計し、目標値を設定しました。		
[1]	事業者のエネルギー消費量（延床面積当たり） 【算出方法】 市内の全事業所等で消費されるエネルギー量の合計÷市内事業者の延床面積 【出典】 オール東京62 提供資料	0.84GJ/m ² (2013年度)	0.50GJ/m ² (2030年度) ※約41%削減
	【指標の狙い】 市内の温室効果ガス削減目標（施策[3]参照）を達成するための業務部門エネルギー消費量を推計し、目標値を設定しました。		
[2]	市内の再生可能エネルギー導入量 【算出方法】 FIT制度による再生可能エネルギー（電気）導入量のうち、町田市内における総導入量 【出典】 資源エネルギー庁HP 公表資料	37,378kW (2019年度)	44,888kW (2030年度) ※約20%増加
	【指標の狙い】 過去の導入量の推移及び国・東京都の目標を見据えつつ、市内でも引き続き導入促進を図ることで2019年度値より増加すると仮定し、目標値を設定しました。		

施策	成果指標	基準値	目標値
[3]	市内の温室効果ガス排出量 【算出方法】 市内の産業部門（製造業、建設業等）、業務部門（事業所等）、家庭部門、運輸部門（自動車、鉄道）における温室効果ガスの排出量の合計 【出典】 オール東京62 提供資料	1,479千t-CO ₂ (2013年度)	993千t-CO ₂ (2030年度) ※約33%削減
	【指標の狙い】 国の温室効果ガス削減目標をもとに、本市におけるこれまでの削減実績や将来推計などを踏まえ目標を設定しました。		
[3]	市内乗用車の登録台数に占めるEV、FCVの割合 【算出方法】 町田市内のEV（電気自動車）・FCV（燃料電池自動車）登録台数÷町田市内の普通乗用車の登録台数 【出典】 普通乗用車の登録台数：一般財団法人 自動車検査登録情報協会 提供資料 EV、FCVの登録台数：一般社団法人 次世代自動車振興センター 提供資料	0.99% (2019年度)	2.01% (2030年度)
	【指標の狙い】 東京都の都内乗用車新車販売の目標を見据えつつ、市民・事業者への啓発や支援及び市内の充電設備等の充実などの取組を実施することで、市内のEV、FCVが増加すると仮定し、目標値を設定しました。		
[4]	気候変動の影響に備えている市民の割合 【算出方法】 毎年度実施予定のアンケートの回答結果 【出典】 「エコ（環境）に関する市民アンケート調査」（市が実施するアンケート調査）	—	増加 (2030年度)
	【指標の狙い】 設問等を見直した新しいアンケート実施の初年度（2023年度予定）を基準値とします。 気候変動対策への普及啓発等を実施することで、基準値より増加させる目標を設定しました。		

基本目標 2 源流から里山、都市が織りなす、いのち輝くまち

施策	成果指標	基準値	目標値
[1]	市民協働による生きもの調査への参加者数 【算出方法】 調査イベント参加者数、公募による調査参加者数、アプリによる調査“報告件数”の累計数 【出典】 市の調査データ	4,340人 (2020年度)	10,000人 (2031年度)
	【指標の狙い】 過去の参加者数の推移を踏まえつつ、イベント等の実施及びアプリ利用者数増加のための普及啓発により、2020年度値より増加させる目標を設定しました。		

[1]	生きものに関心のある市民の割合 【算出方法】 毎年度実施予定のアンケートの回答結果 【出典】 「エコ（環境）に関する市民アンケート調査」（市が実施するアンケート調査）	70% (2020年度)	増加 (2031年度)
【指標の狙い】 過去のアンケート結果の推移を踏まえつつ、生物多様性の保全及び普及啓発等により、2020年度値より増加させる目標値を設定しました。			
[2]	みどりとのふれあいに満足している市民の割合 【算出方法】 毎年度実施予定のアンケートの回答結果 【出典】 「エコ（環境）に関する市民アンケート調査」（市が実施するアンケート調査）	52% (2020年度)	増加 (2031年度)
【指標の狙い】 過去のアンケート結果の推移を踏まえつつ、みどりの活用・保全及び普及啓発等により、2020年度値より増加させる目標値を設定しました。			
[2]	水辺とのふれあいに満足している市民の割合 【算出方法】 毎年度実施予定のアンケートの回答結果 【出典】 「エコ（環境）に関する市民アンケート調査」（市が実施するアンケート調査）	48% (2020年度)	増加 (2031年度)
【指標の狙い】 過去のアンケート結果の推移を踏まえつつ、水辺の保全・普及啓発等により、2020年度値より増加させる目標値を設定しました。			
[2]	みどり率 【算出方法】 緑が地表を覆う部分に公園区域・水面を加えた面積が、地域全体に占める割合 【出典】 東京都 提供資料	45.8% (2018年度)	現状維持 (2031年度)
【指標の狙い】 東京都では、「東京が新たに進めるみどりの取組」（令和元年5月）について、みどり率を指標に「東京の緑を、総量としてこれ以上減らさない」という目標を掲げています。町田市においても、東京都の目標を踏まえ、目標値を設定しました。			

[3]	歴史・文化とのふれあいに満足している市民の割合 【算出方法】 毎年度実施予定のアンケートの回答結果 【出典】 「エコ（環境）に関する市民アンケート調査」（市が実施するアンケート調査）	29% (2020年度)	増加 (2031年度)
	【指標の狙い】 過去のアンケート結果の推移を踏まえつつ、歴史的・文化的環境の活用・保全及び普及啓発等により、2020年度値より増加させる目標値を設定しました。		

基本目標 3 徹底したごみ減量、資源化を進めるまち

施策	成果指標	基準値	目標値
[1] [2] [3]	1人1日当たりごみの排出量 【算出方法】1人1日当たりのごみ排出量 = (総ごみ量 + 集団回収量) ÷ 人口 ÷ 日数 (第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画) 【出典】 市の調査データ	768g/人日 (2019年度)	714g/人日 (2030年度)
	【指標の狙い】 発生抑制等の取組を進め、1人1日当たりの総ごみ量（資源を含む）を約7%（54g）削減する目標値を設定しました。		
[1] [2] [3]	総資源化率 【算出方法】総資源化率 = 資源化量合計 ÷ (総ごみ量 + 集団回収量) (第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画) 【出典】 市の調査データ	31% (2019年度)	40% (2030年度)
	【指標の狙い】 生ごみのバイオガス化施設でのメタン化をはじめとした、総資源化率の向上に向けた取組を進め、9ポイント向上させる目標値を設定しました。		
[1] [2] [3]	ごみの焼却による温室効果ガス排出量 【算出方法】温室効果ガス排出量 = 一般廃棄物（プラスチックごみ及び合成繊維）の焼却に伴い排出される非エネルギー起源CO ₂ + 一般廃棄物の焼却に伴い排出されるCH ₄ 及びN ₂ O (第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画) 【出典】 市の調査データ	約34,000t-CO ₂ (2019年度)	約24,000t-CO ₂ (2030年度)
	【指標の狙い】 発生抑制及びプラスチックの資源化を推進することで、ごみの焼却による温室効果ガスの排出量を約30%削減させる目標値を設定しました。		

基本目標 4 安全で快適な暮らしを実現するまち

施策	成果指標	基準値	目標値
[1]	大気環境、水環境、騒音に関する環境基準の達成割合 【算出方法】 大気環境、水環境、騒音に関する環境基準の達成割合 = 大気環境、水環境、騒音に関する環境基準を達成している数の合計数 ÷ 全項目数 【出典】 東京都提供資料、市の調査データ	81% (2019年度)	現状維持 (2031年度)
	【指標の狙い】 大気・水質の保全及び騒音等への対策を引き続き実施することにより、2019年度の環境基準の達成割合を維持することを目標値として設定しました。		
[1]	居住地の周辺環境（大気・水質・騒音など）に満足している市民の割合 【算出方法】 毎年度実施予定のアンケートの回答結果 【出典】 「エコ（環境）に関する市民アンケート調査」（市が実施するアンケート調査）	67% (2020年度)	増加 (2031年度)
	【指標の狙い】 過去のアンケート結果の推移を踏まえつつ、大気・水質の保全及び騒音等への対策により、2020年度値より増加させる目標値を設定しました。		
[2]	まち並みや景観に満足している市民の割合 【算出方法】 毎年度実施予定のアンケートの回答結果 【出典】 「エコ（環境）に関する市民アンケート調査」（市が実施するアンケート調査）	43% (2020年度)	増加 (2031年度)
	【指標の狙い】 過去のアンケート結果の推移を踏まえつつ、愛着のある景観づくり等の取組により、2020年度値より増加させる目標値を設定しました。		

基本目標 5 環境について、みんなで学び、協働を進めるまち

施策	成果指標	基準値	目標値
[1]	環境に配慮した行動を行っている市民の割合 【算出方法】 毎年度実施予定のアンケートの回答結果 【出典】 「エコ（環境）に関する市民アンケート調査」（市が実施するアンケート調査）	—	増加 (2031年度)
	【指標の狙い】 設問等を見直した新しいアンケート実施の初年度（2023年度予定）を基準値とします。 市民に対して、環境に配慮した行動に関する情報発信・普及啓発等を実施することで、基準値より増加させる目標を設定しました。		

[1]	<p>エコ宣言事業者数</p> <p>【算出方法】 環境に配慮した取り組みを行っている事業者の市への登録数</p> <p>【出典】 市の調査データ</p>	92店・事業所 (2020年度)	120店・事業所 (2031年度)
<p>【指標の狙い】 事業者に対して、環境配慮行動の普及啓発や支援を実施することで、2020年度値より増加させる目標値を設定しました。</p>			
[2]	<p>SNS等のフォロワー数</p> <p>【算出方法】 環境資源部内のSNS等のフォロワー数の合計</p> <p>【出典】 市の調査データ</p>	1,138フォロワー (2020年度)	4,000フォロワー (2031年度)
<p>【指標の狙い】 伝わりやすい情報発信方法を検討するとともに、情報発信を積極的に実施することで、2020年度値より増加させる目標値を設定しました。</p>			